修学旅行

豊頃小学校
3年 A組
鳥宮那由

自主研修 in 函館

四月十九日午後一時三十分ごろ、私達四班の自主研修が始まりました。まず市電に乗って五稜郭公園に行こうと思い、函館駅前駅を探しましたが、「全然『駅前』にないじゃん！」。しばらく函館駅周辺をさまよった後、街の方に聞くと、とても親切に教えてくださいました。函館駅前駅から市電に乗りましたが、中は人でぎゅうぎゅうで、立っているのもやっとなほどでした。なんとか五稜郭公園に着き、みんなで公園内を散策しました。その後は特に大きなアクシデントも無く、無事にチェックポイントである金森赤レンガ倉庫群に倒着しました。西洋の雰囲気のお酒落な外観の建物で、お土産を買ったりました。ラッキーピエロで夕食を食べ、のんびり歩いて函館山麓駅まで向かい、最後にロープウェイに乗って、四班の自主研修は終了しました。

赤レンガ倉庫群前ではハチーズ！

初めてのフェリー。とても大きい。

北海道新幹線&フェリー

二日目は北海道新幹線に乗りました。スピードがとても速く、景色が一瞬で流れていきました。また、「本当に動いてる？」と思うくらい揺れを感じませんでした。「青函トンネル」も通りましたが、暗くてあまり実感が湧きませんでした。二時間近く乗っていたので、みんなでUNOをしました。

三日目はフェリー「きそ」に乗りました。実際に見ることとても大きく、船内もとても豪華でした。夕食と朝食はレストラン「タヒチ」で食べ、自由時間はみんなと話したり、カードゲームをして過ごしました。

猊鼻渓 舟下り

三日目の午前中は、猊鼻渓の舟下りを体験しました。船頭さんが竿一本だけで操る舟下りはここだけだそうです。舟に乗っている間は、船頭さんがダジャレなどを交えながら楽しく自然を紹介してくださいました。折り返し地点で舟を降りてから、「運玉投げ」をやってみました。岩のくぼみに向かって運玉と呼ばれる素焼き玉を投げ入れ、うまくくぼみに入れば願いが成就する（かもしれな）というものですが、結果は一つも運玉は入りませんでした。

船頭さんは面白くて、大自然は迫力があってとても印象に残ったので、また猊鼻渓に来てみたいと思いました。

未来を開く場所～大川小学校～

猊鼻渓からバスに乗り、石巻市震災遺構大川小学校に到着しました。ここは、二〇一三年に起こった東日本大震災の津波によって全校生徒一〇八名の七割に当たる児童が亡くなった場所です。

私たちは当時小学六年生の妹を津波で亡くしている佐藤さんという方からお話を伺いました。特に印象に残ったのは、「大川小学校は『未来を拓く場所』だ」ということです。大川小学校は「悲しい場所」というイメージばかりがついていますが、震災以前は子どもたちの笑顔が溢れる当たり前の日常があったことも忘れてはいけない、と佐藤さんは言っていました。悲しかった出来事だけで終わらせず、教訓を未来に残し伝えていくことが重要だと感じました。

編集後記

今回の修学旅行について、書きたいことはたくさんありましたが、紙幅の都合上四つに絞らせて頂きました。

様々な体験ができ、とても思い出に残る修学旅行になりました。

高学年用 1行10字 31行×7段
※文のはじめと　　（　）（　）の記号は必ず1マス使用しましょう
財団法人 理想教育財団